

BTMU CHINA WEEKLY

EXPERT VIEW: 中国子会社の業務監査と税務リスク

本社の決算発表も終わり、この時期は海外子会社の業務監査が始まる頃でもあります。管理部門の方々においては中国子会社の監事（日本でいうところの監査役）に任命されている場合もあると思いますので、ここでは中国子会社の監事の役割と責任及びその中でも重要な中国税務リスク低減のポイントを解説します。

監事の役割と責任

監事は会社の財務検査、董事会（董事）や経営管理機構（総経理、高級管理職）の職務執行の監督を行う会社の機関です（中国会社法 54 条）。外商投資企業の場合は、株主数が比較的少ないため、監事会を設置せず、一名「監事」の任命のみとしているケースが多く（同 52 条）、監事は株主会で任命され、監督業務執行の報告も株主会に対して行います。董事、総経理等の経営執行が会社に損害を与えると判断する場合の罷免意見或いは是正要求の提出権（同 54 条）、董事会に出席して決議事項に対する質問、意見の提出権（議決権はない）、会社の財務状況等に疑義のある場合の調査権を有し、会社の費用負担の下で会計事務所等を起用して調査を実施することができます（同 55 条）。

業務監査の要点

監事役の業務監査を具体的に進めるにあたってのポイント・指針としては、日本監査役協会の公表する「海外監査チェックリスト」¹が参考になります。監事は会計監査だけでなく業務監査を含む法人全体の経営を、個々の問題点に固執しすぎることなく、俯瞰的な視点を保ちながら限られた時間の中で監査する必要があります。資産の十分な保全、不正、利益相反行為の防止、良好な労務管理、権限を超えた契約行為の有無などのポイントを効率よく網羅的に確認していきましょう。「海外監査チェックリスト」と共に公開されている海外監査のアンケート結果では、監査実施上の留意点として、「現地法人の各部門幹部との対話」、「法令知識のアップデート」、「現地法人負担の軽減」が上げられており、「監査の成否の 70% は事前準備」とのコメントも宜なるかなと思われます。確認すべき資料や質問事項をリストアップし、事前に通知するなど、限られた時間を有効に使いましょう。

年次決算の法定監査の結果を利用して「資産の保全状況」、「不正（粉飾）決算の有無」、「簿外（偶発）債務の有無」を確認することが効率的です。具体的には、棚卸資産・固定資産の現物確認（サンプリングチェック）、銀行残高帳の照合を行います。

個人所得税、企業所得税等の税務申告では、税務担当者個人の経験と慣習に頼る会社が多く、税理士事務所等の外部専門家によるレビューを受けている会社は未だ少ないようです。税務リスクは顕在化すれば利益の数十%が社外流出となる、キャッシュフローに与えるインパクトが極めて大きな項目です。PE 課税リスクなど、本社が危機感を持って対処している一方で、現地の税務担当者がリスクと感じていないなど、対応の真剣さにギャップが生じる項目もあります。

監事役の税務監査においては、確認資料リストの事前提示、チェックリストに沿った質問と資料確認の実施に加え、税務申告書類の外部専門家による事前レビューや監事往査時における税務専門家チームの参加も効率性を考えながら併用することも一案です。

上海衆逸企業管理諮詢有限公司
（上海ユナイテッド アチーブメント コンサルティング）
執行董事 鈴木康伸（日本国公認会計士）

¹ <http://www.kansa.or.jp/index.html> 参照のこと

CHINA WEEKLY

WEEKLY DIGEST

【経済】

◆国務院 輸出入の安定、小規模企業支援、鉄道建設の推進を通じた経済発展の支援措置を発表

李克強総理は24日の国務院常務会議で、中国経済の持続的かつ健全な発展に向けた具体的な経済支援措置を明らかにした。輸出入の安定発展の促進措置として、①通関手続きの簡素化、②輸出商品の法定検査費用の免除、検査対象商品目の削減、③中小民営企業に対する融資の奨励、④貿易方式の多様化による国境貿易の促進、⑤人民元為替レートの合理的な均衡水準での安定維持等を挙げた。小規模企業への支援としては、月商2万元未満の小規模企業に対し、8月1日より増値税と営業税の徴収を一時的に免除とした。また、中西部地域、貧困地域における鉄道・関連インフラ建設を優先的に進め、地域間の協調発展、都市化、民生の改善を促進する方針も示した。

【産業】

◆工業情報化部 19業種 1,294社に立ち遅れた生産設備の廃棄を要求

工業情報化部は25日、過剰生産能力の抑制に向け、製鉄等19業種の1,294社に対し、年内に立ち遅れた生産設備を廃棄するよう命じた。対象業種は、製鉄の他、製鋼、コークス、合金鉄、炭化カルシウム、電解アルミ、銅精錬、鉛精錬、亜鉛精錬、セメント、板ガラス、製紙、アルコール、化学調味料、クエン酸、製革、捺染、化学繊維、鉛蓄電池業で、企業は、立ち遅れた生産設備の稼働を9月までに停止し、年内に完全に廃棄することが求められ、当該設備を別の地域に移転することは禁じられている。なお、廃棄される設備の生産能力は、製鉄で277万トン、製鋼で約698万トン、コークス約1,630万トン、セメント約9,300万トンに達する見込み。

【金融・為替】

◆海外からの資金流入鈍化 但し、大規模な資本逃避は見られず

国家外貨管理局は22日に開いた記者会見で、これまで世界的に流動性が潤沢であったが、5月以降、海外からの資金の流入が明らかに鈍化したと報告した。要因は、米国の量的緩和規模縮小の見通しが高まり、新興市場国からの資金流出が見られ、これらの国の通貨や株価が下落していること、中国経済の下振れ圧力の高まりにより人民元の上昇期待が弱まっていること、海外からの資金流入に対する当局の管理が強化されたことによると指摘。また、新興市場国では、資本の流出が見られるものの、中国では、対内直接投資が回復傾向にある一方、撤退規模は縮小していること等から、今のところ大規模な資本逃避の形跡は見られないとの認識を示した。なお、下半期の見通しについて、国内外の不確定要因は依然として多く存在するものの、中国を取り巻く資金の流れは概ね安定へ向かうとの予測を示すとともに、引き続き資金の流動に対する管理も強化していくとコメントした。

人民元の動き

日付	USD				JPY(100JPY)		HKD		EUR		金利 (1wk)	上海A株 指数	
	Open	Range	Close	前日比	Close	前日比	Close	前日比	Close	前日比		指数	前日比
2013.07.22	6.1355	6.1355~6.1414	6.1413	0.0034	6.1396	0.0175	0.79154	0.0004	8.0798	0.0204	3.8000	2098.32	12.83
2013.07.23	6.1396	6.1358~6.1426	6.1374	-0.0039	6.1662	0.0266	0.79110	-0.0004	8.0970	0.0172	4.0000	2139.35	41.03
2013.07.24	6.1370	6.1352~6.1388	6.1360	-0.0014	6.1359	-0.0303	0.79087	-0.0002	8.1216	0.0246	4.0400	2128.25	-11.10
2013.07.25	6.1390	6.1340~6.1395	6.1347	-0.0013	6.1385	0.0026	0.79082	-0.0000	8.1003	-0.0213	5.4000	2115.45	-12.80
2013.07.26	6.1332	6.1294~6.1396	6.1316	-0.0031	6.2193	0.0808	0.79049	-0.0003	8.1470	0.0467	4.4100	2104.62	-10.83

(資料) 中国外貨取引センター、中国人民銀行、上海証券取引所資料より三菱東京UFJ銀行国際業務部作成

RMB レビュー&アウトルック

～現水準を中心とした堅調推移を見込む～

今週の中国人民元は6.13台後半中心の取引となった。中国人民銀行が設定する対ドル基準値も6.17付近で推移しており、週を通じて大きな変化はみられなかった。

23日、地元メディアは李首相による「中国の成長率は7%がボトムラインであり、それを下回る成長率を容認することは出来ない」との発言を報じた。そのため、市場では政府による景気支援策への期待が強まり、中国株は上昇する展開となった。実際、24日開催された国務院常務会では、鉄道建設を加速する

方針が示されたほか、中小企業への税制優遇導入や輸出企業の事務手数料引き下げといった景気支援策が決定されている。また、中国人民銀行も貸出金利の下限撤廃を決定。これまで、貸出金利は、基準値の0.7倍という下限が設定されていた。下限撤廃を受けて銀行間の競争が促されれば、一部の企業はこれまでより低い金利で借入れを行うことが可能になるため、中期的にみて経済活動の活性化につながろう。一方で、楼財政部長から「政府は2008年のような大規模な経済刺激策を取ることはない」との発言も聞かれている。政府・中銀の取り組みは景気下支えに作用しようが、刺激策が小規模に留まることで、景気テコ入れ効果も限定的なものになる可能性が高い。

中国人民銀行が22日に公表したデータによると、6月の金融機関による新規外貨買い入れ額は前月比▲4.1億元と、7ヵ月ぶりにマイナスへ転じた。国家外為管理局による資本流入規制による影響とみられ、元高圧力は和らぎつつあるようだ。ただ、こうしたなかでも基準値比元高水準での推移は継続しており、根強い人民元需要も確認されている。来週の人民元も現水準を中心としつつ堅調推移が続くとみている。

(7月26日作成) (市場企画部市場ソリューション室 グローバルマーケットリサーチ)

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。